

ちょっと気になるデータ解説

新入社員の海外志向の低下

最近の新入社員に対する意識調査からは、「グローバル化」について肯定的にとらえる一方で、自身については海外で働くことに消極的な人が多く、内向き志向が感じられる。ここでは、二つの調査結果から、その傾向について確認したい。

日本能率協会が2014年4月に公表した、2014年度「新入社員・会社や社会に対する意識調査」結果(1)によると、「グローバル化のイメージ」として「期待感」と「不安感」のどちらかを選択する問に、「期待感」とした新入社員が66.3%となった(「不安感」31.7%、無回答2.0%)。「日本企業にとってビジネスの好機」か「ビジネスの危機」かについては、「ビジネスの好機」と答えた人が75.3%(「ビジネスの危機」22.6%、無回答2.1%)となり、「自分も当事者である」と「自分には関係ない」の二択では、「自分も当事者である」が78.2%であった(「自分には関係ない」19.6%、無回答2.2%)。

このように、グローバル化についてはポジティブに受け止める新入社員が多かったが、「海外赴任をしてみたいと思いますか」の問には、「してみたい」が40.9%だったのに対し、「したくない」が57.7%と多い結果となった。前年度と比較すると、「したくない」の割合は13年度の50.9%から6.8ポイント上昇しているのに対し、「してみたい」の割合は13年度の48.4%から7.5ポイント低下した。

別に設けられた「働くにあたって、できればやりたくないこと」(複数回答)を聞いた結果でも、もっとも多かった「休日出勤」(43.7%)に次いで、「海外への転勤」が42.8%と高い割合となり、内向きの傾向が出ている。

海外赴任を「したくない」とした人に聞いた「したくない理由」(複数回答)は、「治安や食生活、衛生面で不安を感じるから」が54.5%、「言葉が通じること不安だから」52.0%、「日本が好きだから」39.3%、「家族や友人・恋人と離ればなれになってしまうから」38.5%などとなっている。同じ設問について最近の傾向をみると、「言葉が通じること不安だから」が目立って低下しているのに対し、「治安や食生活、衛生面で不安を感じるから」は上昇しており、危険などに対する不安感が強まっていることがわかる(表1)。

表1 海外赴任をしたくない理由

	治安や食生活、衛生面で不安を感じるから	言葉が通じること不安だから	日本が好きだから	家族や友人・恋人と離ればなれになってしまうから
2014年度	54.5	52.0	39.3	38.5
2012年度	51.6	54.1	40.1	40.1
2011年度	45.8	66.7	32.2	44.6

資料出所：日本能率協会 新入社員「会社や社会に対する意識調査」
※2013年度は、当該事項についての問を設けていない

新入社員の海外志向については、産業能率大学が13年7月に公表した、同年度の「新入社員のグローバル意識調査」(2)においても調べられている。海外で働くことについては、「どんな国・地域でも働きたい」「国・地域によっては働きたい」「働きたいとは思わない」の三択でたずねている。その結果は、「働きたいとは思わない」が58.3%と多数を占め、3年前に行われた前回10年度調査の49.0%から上昇した。これに対し、「どんな国・地域でも働きたい」は29.5%で前回調査の27.0%からわずかに上昇したが、「国・地域によっては働きたい」は12.2%となり、前回調査の24.0%から大きく低下している。

さらに、過去の集計結果をみると(3)、「働きたいとは思わない」は01年度で29.2%に過ぎず、「国・地域によっては働きたい」が53.4%と多数を占めていた。以降13年度まで、「働きたいとは思わない」の割合が上昇し、半数を超えるに至っている。これに対し、「国・地域によっては働きたい」の割合は13年度の12.2%へと、著しく低下している。一方、01年度において、「どんな国・地域でも働きたい」は17.3%に過ぎなかったが、13年度には3割近くまで上昇している(表2)。これらの動きについて、産業能率大学は「海外志向が強い層も弱い層もいずれも増加傾向がみられる」としている。

なお、海外で働きたいとは思わない人が答えた理由は、「自分の語学力に自信がないから」が65.2%、「海外勤務は生活面で不安だから」が50.4%、「海外に魅力を感じないから」が35.5%などであった。

表2 これから海外で働きたいと思うか

単位:%

	どんな国・地域でも働きたい	国・地域によっては働きたい	働きたいとは思わない
2013年度	29.5	12.2	58.3
2010年度	27.0	24.0	49.0
2007年度	18.0	45.8	36.2
2004年度	24.2	47.1	28.7
2001年度	17.3	53.4	29.2

資料出所：産業能率大学「新入社員のグローバル意識調査」

- 14年3月27日～4月8日に実施し、日本能率協会が提供するセミナーの参加者1039人および上司・先輩(同会会員企業およびセミナー参加企業に勤務)151人から回答を得ている。
- 13年6月18日から24日までの7日間実施されたインターネット調査。18歳から26歳までの新入社員を対象とし、793人の回答を集計している。
- 調査は3年ごとに行われている。07年度までの調査は、産業能率大学が開催した新入社員研修の参加者を対象にアンケート用紙を配布して実施されており、インターネット調査による10年度調査以降とは調査方法が異なる。

(調査・解析部主任調査員 吉田和央)